

校長室からのお知らせ

1月9日号 NO.34

岸和田市立浜小学校
校長 尾野 武志

新しい1年が始まります

学校で働いていると、4月が新しい1年の始まりとってしまいがちですが、やはり年末年始の独特の雰囲気を感じると、もうすぐ57歳になろうとする私でも、ワクワクしてしまいます。玄関にミニサイズのしめ縄を飾ったり、掌でも隠れてしまいそうな鏡餅をテレビの横に置いたり、祝箸に家族の名前や取り分け用の「海山」と筆ペンで書いたり、お正月用のお菓子を買いだめしたりしているだけで、お正月気分を十分に味わってしまっているような気がします。

小学生時代に除夜の鐘を聞くことを目標に眠気と闘いながら過ごしていたことを40代くらいまでは懐かしく思っていました。最近では早寝早起きが習慣づいてしまったために、眠気に負けて気がつくとも明るくなっていることが増えてきました。悲しいことに、昨年の大みそかも眠気に惨敗して、除夜の鐘を聞き逃しています。

さて、みなさまのご家庭のお雑煮に特徴はございますか。私の家では、白みそベースで大根や金時人参、丸餅と京都風に近いと思いますが、絶対に外せないのが「ゆり根」です。お正月のお雑煮でしか食べませんが、「ゆり根」が入っていないのは、茶わん蒸しに「銀杏」が入っていないのと同じくらい寂しくなります。伝わりにくいと思いますが、「ゆり根」を食べるためのお雑煮で「銀杏」を楽しむための茶わん蒸しというのが、私の感覚です。

香川県のお雑煮は普通のお餅でなくあんこ餅で、奈良県のお雑煮はお餅を取り出してきな粉をつけて食べるそう。徳島県のお雑煮はお餅が入っておらず2丁もお豆腐が入っているそうです。



それぞれの地域でそれぞれの特色がありますように、ぜひともご家庭の味をお子様に伝授していただき、ご家庭の伝統を守っていただきたいと思っております。羽子板や凧揚げ、コマ回しなどの昔の遊びや門松や餅つきなども見かけることが少なくなりましたが、お正月らしさを残していただき、お子様が新たな気持ちで一年をスタートできるようにご協力をお願いいたします。